

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 7 月 17 日 (2008.7.17)

【公開番号】特開 2002-363459 (P2002-363459A)
 【公開日】平成 14 年 12 月 18 日 (2002.12.18)
 【出願番号】特願 2001-170559 (P2001-170559)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 6 月 2 日 (2008.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも水と、着色剤と、カチオン系水系ポリマーとを含み、pH が低下することによりゲル化するインクを 2 色以上、独立して含むインクセットであって、少なくとも 2 色のインクの pH およびゲル化 pH が異なることを特徴とするインクセット。

【請求項 2】 ゲル化 pH を持つインク (A) と、インク (A) より低いゲル化 pH を持つインク (B) において、インク (B) の pH が、インク (A) のゲル化 pH より低いという関係が 2 色以上のインク間で成り立つ請求項 1 に記載のインクセット。

【請求項 3】 ゲル化 pH を持つインク間の pH 差が 1 以上である関係が 2 色以上のインク間で成り立つ請求項 1 または 2 に記載のインクセット。

【請求項 4】 前記インクのいずれかが、分子量 200 以下のアミンを含む請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のインクセット。

【請求項 5】 前記インクの pH が、いずれも 8 以上である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のインクセット。

【請求項 6】 複数のインクを付着させて被記録材に印字を行う記録方法であって、インクとして請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のインクセットを用いることを特徴とする記録方法。

【請求項 7】 複数のインクを飛翔させ、該インクを被記録材に付着させて印字を行うインクジェット記録方法であって、インクとして請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のインクセットを用いることを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 8】 pH の低いインクを先に被記録材に付着させて印字を行い、次に pH の高いインクを被記録材に付着させて印字を行う請求項 7 に記載のインクジェット記録方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

上記目的は以下の本発明により達成される。すなわち、本発明は、2色以上のインクを用いて、被記録材にインク滴を吐出させてカラー画像記録を行うインクセットにおいて、少なくとも水と、着色剤と、カチオン系水系ポリマーとを含み、pHが低下することによりゲル化するインクを2色以上、独立して含むインクセットであって、少なくとも2色のインクのpHおよびゲル化pHが異なることを特徴とするインクセット、および該インクセットを用いる記録方法を提供する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

【発明の実施の形態】

次に好ましい実施の形態を挙げて本発明をさらに詳細に説明する。

本発明によるインクセットは、基本的に、少なくとも水と、着色剤と、カチオン系水系ポリマーとを含み、pHが低下することによりゲル化するインクを2色以上、独立して含むインクセットであって、少なくとも2色のインクのpHおよびゲル化pHが異なることを特徴としている。